

つくば市平成 31 年（2019 年）2 月定例記者会見 資料一覧

平成 31 年（2019 年）2 月 7 日（木）

つくば市市長公室広報戦略課

- 1 AI チャットボットによる問い合わせ自動応答サービスの実証実験開始について
- 2 公共交通利用説明会の開催について
- 3 平成 30 年（2018 年）中におけるつくば市の火災・救急概要について
- 4 第 18 回チャレンジアートフェスティバル in つくばの開催について
- 5 つくばショートムービーコンペティション 2019 の開催について
- 6 「平成 31 年成人の集い」の開催報告について
- 7 つくば市イベント情報（平成 31 年（2019 年）2 月、3 月）

世界のあしたが見えるまち。

こども部こども政策課、市民部市民窓口課

イベント等名	AIチャットボットによる 問合せ自動応答サービスの実証実験を開始【県内初】
1 趣旨・目的	子育て支援情報サイト「子育てナビ」（旧 子育て支援情報システムのリニューアル）の開設にあわせて、利便性の向上を図るため、株式会社ユーザーローカル（代表取締役社長 伊藤将雄）と共同で、市民からの問合せに対話方式で自動応答する「AIチャットボット」の実証実験を開始する。 実証実験では、つくば市イメージキャラクター「フックン船長」が、24時間365日、パソコンやスマートフォンを通じて、市民からの質問に回答する。 市民向けサービスとしては県内初。（※こども政策課調べ）
2 日時	平成31年（2019年）2月8日（金）から開始
	（2月8日はフックン船長の誕生日）
3 URL	http://www.city.tsukuba.lg.jp/chatbot.html
4 内容	「保育所・子育て支援」及び「証明書・手続き」（市民窓口関連）分野での実証実験
5 参考	チャットボットとは… 対話を意味する「チャット」と「ロボット」の2つを組み合わせた言葉で、パソコンやスマートフォンから入力される文字や音声に対して、あらかじめ決められた回答を、会話をしているように即時に自動で返すもの。
資料等	別紙 利用の流れ



イベント等名	公共交通利用説明会
1 趣旨・目的	平成29年度から市民の皆様にご意見を伺いながら検討を進めてきたつくば市の公共交通の改編について、平成31年4月に実施予定の改編実施計画を作成しました。 現在、4月実施に向け、関東運輸局への認可申請を含めた準備を進めています。 今回、予定している改編後の市内公共交通を円滑に利用していただくために、市民を対象に説明会を実施します。 説明会は、市内6地区で1回ずつ開催する「公共交通利用説明会」のほか、実証実験として新たな交通手段を導入する筑波地区及び荃崎地区に対しては、別途「支線型バス実証実験・つくバス利用説明会」「路線バス実証実験・つくバス利用説明会」を開催します。
2 開催期間	【公共交通利用説明会】（全6回） 平成31年2月16日（土）～2月24日（日） 【支線型バス・つくバス利用説明会】（全7回） 平成31年2月19日（火）～2月21日（木） 【路線バス実証実験・つくバス利用説明会】（全9回） 平成31年2月25日（月）～3月1日（金）
3 場所	別紙チラシ参照
4 内容	・公共交通改編後の公共交通利用方法に関する説明
5 対象者等	・対象者：市民全般 ・実績：平成30年5月実施「公共交通改編地区別説明会」 参加者総数 337名（14回開催）
6 特記事項	筑波地区、荃崎地区で開催する「支線型バス実証実験・つくバス利用説明会」「路線バス実証実験・つくバス利用説明会」については、地元自治会等の協力を得て、小規模で丁寧に開催することで参加しやすい開催の手法をとることができました。
資料等	・平成31年4月改編実施計画の概要 ・つくば市バス路線図（改編前、改編後） ・説明会チラシ

イベント等名	平成30年(2018年)中におけるつくば市の火災・救急概要について				
1 報 告	1 火災の状況				
	年 別 区 分		平成30年	平成29年	増 減
	出 火 件 数		76件	74件	2件
	火 災 種 別	建 物 火 災	35件	40件	△ 5件
		林 野 火 災	3件	4件	△ 1件
		車 両 火 災	11件	8件	3件
		その他の火災	27件	22件	5件
	死 者		0人	4人	△ 4人
	負 傷 者		11人	6人	5人
	2 出火原因別				
	年 別 順 位	平成30年		平成29年	
		原 因	件 数	原 因	件 数
	1	放火及び 放火の疑い	17件	放火及び 放火の疑い	8件
	2	たき火	9件	たき火	6件
	3	電気機器等	5件	たばこ	5件
	3 救急の状況				
	年 別 区 分		平成30年	平成29年	増 減
	出 場 件 数		9, 493件	9, 041件	452件
	搬 送 人 員		8, 856人	8, 475人	381人
	救 急 種 別	急 病	5, 872件	5, 420件	452件
		一般負傷	1, 100件	1, 102件	△ 2件
		交通事故	1, 059件	1, 104件	△ 45件
		そ の 他	1, 462件	1, 415件	47件

資料等	4 署所別出場件数	<table><tr><th>年 別 署所別</th><th>平成30年</th><th>平成29年</th><th>増 減</th></tr><tr><td>中央消防署</td><td>2, 087件</td><td>1, 925件</td><td>162件</td></tr><tr><td>豊里分署</td><td>722件</td><td>679件</td><td>43件</td></tr><tr><td>桜分署</td><td>1, 286件</td><td>1, 178件</td><td>108件</td></tr><tr><td>並木分署</td><td>1, 415件</td><td>1, 350件</td><td>65件</td></tr><tr><td>北消防署</td><td>1, 085件</td><td>1, 050件</td><td>35件</td></tr><tr><td>筑波分署</td><td>471件</td><td>443件</td><td>28件</td></tr><tr><td>南消防署</td><td>1, 571件</td><td>1, 533件</td><td>38件</td></tr><tr><td>荃崎分署</td><td>856件</td><td>883件</td><td>△ 27件</td></tr><tr><td>合 計</td><td>9, 493件</td><td>9, 041件</td><td>452件</td></tr></table>			年 別 署所別	平成30年	平成29年	増 減	中央消防署	2, 087件	1, 925件	162件	豊里分署	722件	679件	43件	桜分署	1, 286件	1, 178件	108件	並木分署	1, 415件	1, 350件	65件	北消防署	1, 085件	1, 050件	35件	筑波分署	471件	443件	28件	南消防署	1, 571件	1, 533件	38件	荃崎分署	856件	883件	△ 27件	合 計	9, 493件	9, 041件	452件
	年 別 署所別	平成30年	平成29年	増 減																																								
	中央消防署	2, 087件	1, 925件	162件																																								
	豊里分署	722件	679件	43件																																								
	桜分署	1, 286件	1, 178件	108件																																								
	並木分署	1, 415件	1, 350件	65件																																								
	北消防署	1, 085件	1, 050件	35件																																								
	筑波分署	471件	443件	28件																																								
	南消防署	1, 571件	1, 533件	38件																																								
	荃崎分署	856件	883件	△ 27件																																								
	合 計	9, 493件	9, 041件	452件																																								
	5 概要及び今後の対応	火災件数は、昨年より2件多く、負傷者は 11 人で5人増加しました。なお、負傷者は、初期消火や避難中に発生したものです。 また、火災原因については、「放火・放火の疑い」によるものが多くを占めている状況です。 今後の火災予防対策については、依然として建物火災が多く発生していることから住宅用火災警報器の設置及び維持管理について、更なる普及啓発を図るとともに、放火対策については各自治会や事業所等に対して広く周知することにより強化していきます。 救急件数は、昨年より 452 件多く発生し搬送人員は 8,856 人で 381 人増加し、過去最多の出場件数となっています。 なお、搬送人員のうち傷病程度では、軽症（4,202 人）が全体の 47%を占めていることから今後も、引き続き各種イベント等を通して、救急車の適正利用のPR活動を強化するとともに、市民への応急手当の普及啓発にも取り組んでいきます。																																										

イベント等名	第18回チャレンジアートフェスティバルinつくば
1 趣旨・目的	障害のある方が制作した作品の展示と演劇等の舞台発表を通して、当事者の方々の生きがいを高め、自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する市民の理解と認識を深めることを目的として開催します。
2 日時	（1）舞台発表：平成31年（2019年）3月2日（土） 10：00～16：00 （2）作品展示：平成31年（2019年）3月5日（火）～10日（日） 9：30～17：00（最終日は15：00まで） オープニングイベント 3月5日（火）14：00～15：00 クロージングイベント 3月10日（日）14：00～15：00
3 場所	（1）舞台発表：つくばカピオホール（つくば市竹園1-10-1） （2）作品展示：茨城県つくば美術館（つくば市吾妻2-8）
4 内容	障害のある方が作成した制作した絵画や造形物の展示、ダンスや太鼓、劇の発表、ワークショップなど。福祉団体等による食品や製品の販売もあります。
5 対象者等	（1）対象者 一般市民および障害のある方 （2）参加予定者 市内の障害者団体、ボランティア （3）昨年度の実績 ①舞台発表：参加者 500名、来場者1,400名 ②作品展示：参加者900名、来場者1,700名
6 主催等	主催 つくば市、チャレンジアートフェスティバル実行委員会 （実行委員会事務局 つくば市社会福祉協議会）
7 特記事項	今年度の特徴 （1）舞台発表 「踊 正太郎^{よう しょうたろう}」による、津軽三味線の演奏 （2）作品展示 ・友好都市 荒川区からの出展（共同作品6点） ・オープニングイベントにおける「オカリナ レリーサ」によるミニコンサート ・クロージングイベントにおける「茨城県立竹園高等学校合唱部」によるミニコンサート
資料等	イベントチラシ

イベント等名	つくばショートムービーコンペティション2019
1 趣旨・目的	つくば市からの文化発信と次世代の才能の発掘を目指し、10 分以内の短編映像の公募を行う、民・産・学・官の共催イベント。平成 25 年度から開始し、今回が 6 回目の開催。
2 日時	平成 31 年（2019 年）3 月 2 日（土）13:30 開演
3 場所	つくばイノベーションプラザ（吾妻 1-10-1）
4 内容	最終審査会では、全国から寄せられた 151 作品（昨年度 122 作品）のうち、一次審査を経て選ばれた 10 作品を上映する。 審査員による各賞の決定、授賞式を実施。また、観客の投票により観客賞の決定を行う。 グランプリにはつくば市の姉妹都市であるフランス・グルノーブル市で 7 月に開催される屋外短編映画祭への招待・作品の特別上映の副賞あり。 審査員長：中村義洋映画監督（つくば市小田出身） ※監督によるトークセッションを予定
5 対象者等	【観客審査員を募集中】 中学生以上で、ノミネート作品 10 本を全て視聴いただける方 定員 50 名（要事前申込、電話・メールにて） ※一般観覧も可能（申込不要）
6 主催等	つくばショートムービーコンペティション実行委員会、つくば市、筑波学院大学、（公財）つくば文化振興財団
7 特記事項	今回より新規に㈱ウィットスタジオの協賛を得て、「ウィットスタジオアニメーション賞」を新設した。
資料等	「つくばショートムービーコンペティション2019」チラシ

平成 31 年(2019 年)2月定例記者会見 資料No.6

教育局 生涯学習推進課

件名	「平成 31 年成人の集い」の開催報告について
内容	1 趣旨 次世代を担う新成人の門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任感を育成するために開催した「つくば市成人の集い」の結果を報告する。 2 経過 日 時：平成 31 年（2019 年）1 月 13 日（日） 午前 11 時 会 場：つくばカピオ（つくば市竹園 1-10-1） 内 容：10:00 受付開始 10:30 思い出 VTR 放映（開会前）約 15 分×2 回 11:00 開会 新成人の誓い／主催者挨拶／アトラクション（森と林） 11:46 閉会 対象者：2,764 人（男性 1,502 人、女性 1,262 人） ※平成 10 年（1998 年）4 月 2 日から 平成 11 年（1999 年）4 月 1 日生の新成人 入場者数：1,777 人（男性 906 人、女性 871 人） 主 催：つくば市成人の集い実行委員会（各中学校等から推薦された新成人 51 名）、つくば市、つくば市教育委員会 協力者：つくば市成人の集い実行委員、つくば市青少年相談員、つくば市消防団、応援職員、社会教育指導員 警 備：警備員 40 人（違法車両対策、会場内警備の対応） ※協力：つくば中央警察署、つくば北警察署 運営体制：①大清水公園入口信号から竹園 1 丁目東信号間まで、当日午前 9 時から午後 1 時（予定午後 2 時）まで、車両進入禁止とした。 ②受付を出身中学校等別に行い、手荷物検査を実施し、危険物の持ち込みを禁止するほか、飲酒者の入場規制を行った。 ③保護者観覧席（控室）を別会場（ホール）に設け、会場内の様子を映像配信した。
効果等	受付、警備体制、交通規制の強化により、円滑に式典を執り行うことができ、新成人の門出を祝うことができた。 参列された保護者から、「とても良いお式でした。心温まる成人式をありがとうございました。」とコメントをいただいた。

世界のあしたが見えるまち。